

恋人の聖地・中の島大橋（木更津市）

木更津市の中の島大橋は、木更津港内港に架かる町のシンボル。「赤い橋」の名で多くの市民に親しまれ、「恋人の聖地」として市内有数の観光地になっている。

市などによると、高さ27.1メートル、長さ2200メートル、幅4.5メートルのこの橋は、実は日本一高い歩道橋。東京湾の埋め立てで姿を消す潮干狩り場を守ろうと、1975年に完成した。地元住民らの要望で港内の埋め立て地・中の島公園に潮干狩り場を造ることになり、来場者を安全に運ぶため歩道橋を架けたのだ。空気の澄んだ夕暮れ

房総水辺の風景

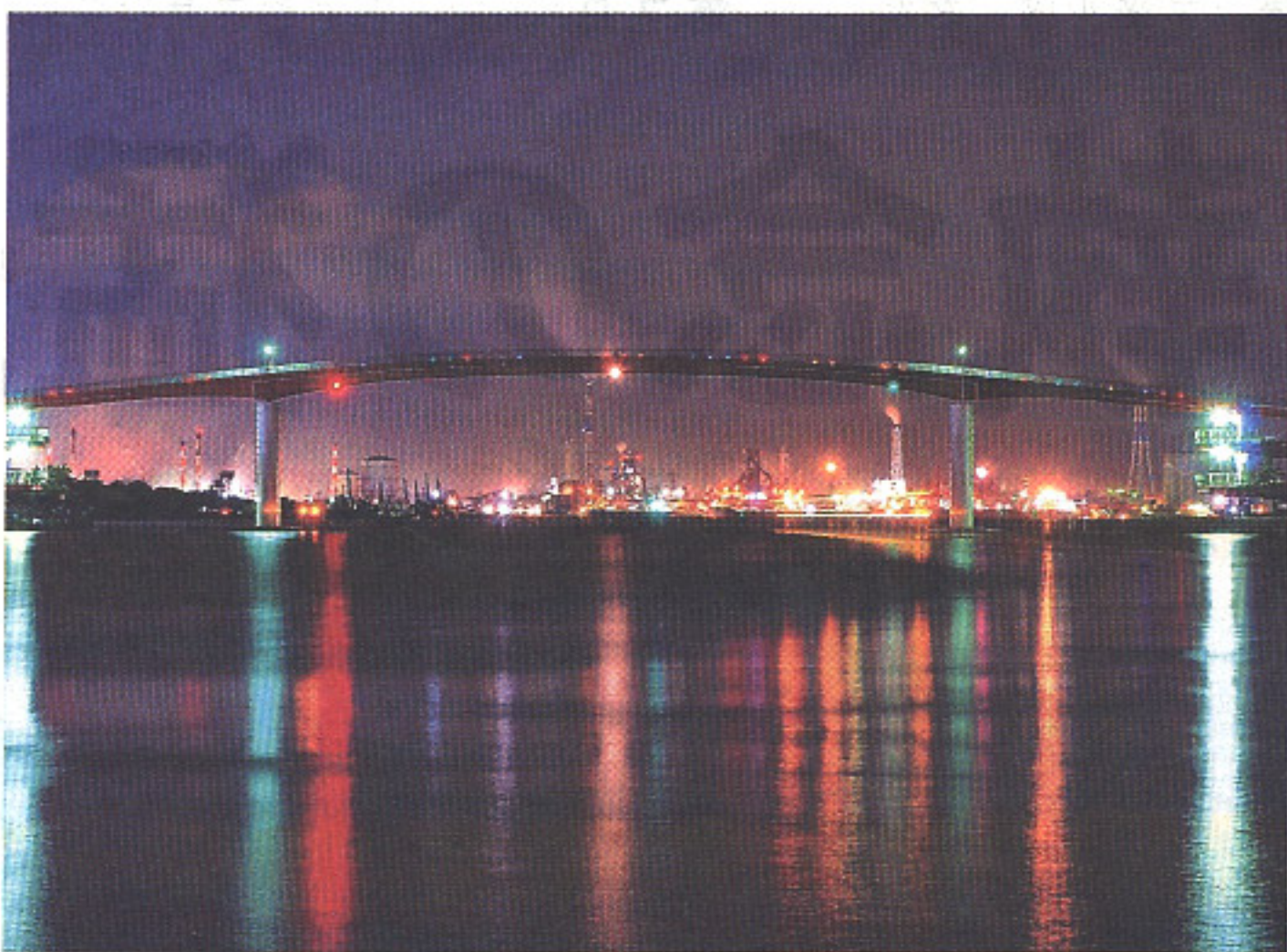
～2～

日本一高い歩道橋

時には、東京湾越しの富士山とのコラボレーションが見事で、日が落ちると背後に製鉄所

の工場夜景が広がる絶好の撮影スポット。2002年に放映されたテレビドラマ「木更津キャッツアイ」で、男女がおんぶした。10年にはNPO法

内外から多くの恋人たが訪れるようになった。



港に架かる中の島大橋。夜には橋のライトが海面に反射し、幻想的な写真が撮れる＝7月23日、木更津市

港に架かる町のシンボル

人「地域活性化支援センター」が恋人の聖地に選定。町おこしに活用する任意団体「恋人の聖地・中の島大橋プロジェクト実行委員会」と市は14年から、「木更津恋物語・冬花火」と銘打って12月から2月の土曜日に花火を打ち上げた。今年の冬も開催予定という。

同会の国吉俊夫会長

(67)は「県外からも見に来る人がかなりいる。中の島大橋は観光資源。今後も続けていきたい」と意気込んでいた。

(火曜定休)。橋を渡った先にある中の島公園の潮干狩り場は、潮回りによってできない日もあるが、22日まで営業している。

メモ

J R 木更津駅西口(みなど口)から約1.2キロ、徒歩約15分。橋のたもとには鳥居崎海浜公園があり、31日まで水泳プールが開園中

橋のたもとには恋人の聖地のモニュメントがある

